

★神戸の催し物ご案内 9月

★音楽

★良パン

8日(木) 6時半 神戸国際会館
A・一七〇〇円 B・一〇〇〇円

★新沼謙二

10日(土) ①2時半 ②6時半
神戸国際会館 A・二二〇〇円
B・一八〇〇円 C・一五〇〇円
五木ひろし

11日(日) ①2時 ②6時 神戸
国際会館 S・五〇〇円 A・
四〇〇円 B・三〇〇円

★岸洋子



岸 洋子

13日(火) 6時半 神戸国際会館
民音/一九〇〇円

★立川清登・島田裕子を聞く夕へ
14日(水) 6時半 神戸文化大ホ
ール S・一八〇〇円 A・一五
〇〇円 B・一二〇〇円 C・八
〇〇円

★音楽の家

シャノンフエア
16日(金) 6時半 神戸文化の中
ホール(金) 6時半 神戸文化の中
ホール

★アンサンブル・フィルムジカ

19日(月) 7時 神戸文化の中ホ
ール 四〇〇円
★ジャズビッグバンド
フェスティバル
20日(火) 6時半 神戸国際会館
民音/二二〇〇円

★三室義バリントニサタル

22日(木) 7時 県民小劇場
一五〇〇円
★キャンディーズ
24日(土) ①2時 ②6時半
姫路文化センター A・二二〇〇
円 B・一八〇〇円 C・一五〇
〇円

★神戸市青少年女会楽団

24日(土) 2時 県民小劇場
三〇〇円

★森山良子

24日(土) 2時半 神戸文化大ホ
ール S・三〇〇〇円 A・二五
〇〇円 B・一五〇〇円

★島倉千代子
25日(日) ①1時 ②4時 神戸
文化大ホール S・二五〇〇円
A・二〇〇〇円 B・一五〇〇円

★バスカル・ロジェ
26日(月) 7時 神戸文化の中ホ
ール S・二五〇〇円 A・二〇
〇〇円 B・一五〇〇円

★神戸コンサートオーケストラ
27日(火) 7時 県民小劇場
整理券

★ジャン・ピエール・ランバル
28日(水) 7時 神戸国際会館
S・三〇〇〇円 A・二六〇〇円
B・二二〇〇円 C・一八〇〇円

★小村亮三バリントニ独唱会
28日(水) 7時 神戸文化の中ホ
ール 一五〇〇円

★二葉百合子
29日(木) 4時 30日(金) ①12
時 ②4時 神戸国際会館
S・三〇〇〇円 A・二八〇〇円
B・二二〇〇円

★劇団神戸「四谷藤次」
6日(火) 7日(水) 6時15分
県民小劇場(一〇〇〇円)

★新人会「深川安業亭」
8日(木) ①10時 ②6時15分
11日(日) 1時半
12日(月) 14日(水) 6時15分
神戸文化の中ホール 労演/一八〇
〇円

★劇団四紀会「夏の牧場」
10日(土) 6時半



大沢範子

★神戸っ子読者10名様ご招待

大沢範子モダンダンス公演
▲9月22日(木) 6時半 神戸文化ホールV
ジロドワの戯曲「オンデイズ」を大沢範子
がモダンダンスとしてどのように表現するか
が期待されている。
希望の方は、神戸っ子編集室「大沢」係まで
葉書で、先着順。

11日(日) ①1時半 ②6時半

12日(月) 6時半
神戸文化小ホール 一二〇〇円
★道化座「街と飛行船」
17日(土) ①2時 ②7時 県民
小劇場 一〇〇〇円

★松竹大歌舞伎
24日(土) ①12時 ②5時
8日(水) ①11時半 ②5時
神戸文化大ホール S・三五〇〇
円 A・三〇〇〇円 B・二五〇
〇円 C・二〇〇〇円 学生・一
〇〇〇円

★松山バレエ団「コッペリア」
出演/中村歌右衛門、実川延若
中村芝翫、中村福助ほか

★松山バレエ団「コッペリア」
出演/中村歌右衛門、実川延若
中村芝翫、中村福助ほか



森下洋子

12日(月) 7時 神戸文化大ホール
民音/会員・二五〇〇円 一般
A・三〇〇〇円 B・二六〇〇円

★市民映画劇場
(灰とダイヤモンド)
19日(日) 21日(水) 22日(木)
6時半 24日(土) 2時 神戸文
化小ホール 四九九円

★大沢範子「オンデイズ」
22日(木) 6時半 神戸文化の中ホ
ール 前売・二〇〇〇円

★松竹大歌舞伎
24日(土) ①12時 ②5時 神戸
国際会館 S・三五〇〇円 A・
二五〇〇円 B・一〇〇〇円

出演/尾上梅幸、尾上菊五郎、河
原崎権十郎

●愛読者優待席

神戸っ子読者に左記のステージを
割引優待致します。

★松竹大歌舞伎
9月24日(土) ①12時 ②5時
神戸国際会館
S・三五〇〇円 A・二五〇〇円
B・一五〇〇円をそれぞれ一割引

★バスカル・ロジェ
9月26日(月) 7時 神戸文化の中
ホール
S・二五〇〇円 A・二〇〇〇円
B・一五〇〇円をそれぞれ一割引

★77秋冬パレコレクシオン
9月27日(火) 6時半
神戸国際会館 S・五〇〇〇円
A・三〇〇〇円をそれぞれ一割引

★ジャンピエールランバル
9月28日(水) 7時 神戸国際会
館

指揮/延原武春 管絃楽/大阪テ
レマンアンサンブル ピアノ/井
上二葉
S・三〇〇〇円 A・二六〇〇円
B・二二〇〇円 C・一八〇〇円
をそれぞれ一割引

★二葉百合子
9月29日(木) 4時
9月30日(金) ①12時 ②4時
神戸国際会館
S・三五〇〇円 A・二八〇〇円
B・二二〇〇円をそれぞれ一割引

★77KOBECのフェスティバル
10月1日(土) 6時 神戸文化大
ホール 二〇〇〇円を一割引

★岩崎淑「ラルフ・ゴットニ
2台のピアノ」
10月12日(水) 7時 神戸文化の中
ホール
S・二五〇〇円 A・二〇〇〇円
B・一五〇〇円をそれぞれ一割引

ご希望の方は電話かハガキで神戸
っ子編集室・優待係(八川崎)まで

人間模様

□人間模様〈第二十回〉
華麗・奔放な“尽くす女”／書家

望月美佐

重森 守（元朝日新聞神戸支局長）題字／望月美佐 写真／米田定藏

日展を飛び出してつくった「鳳美社」なる組織が、こ
として十歳になる。で、この秋には神戸と東京で華やか
な祝賀会や記念行事をするらしい。

「それだけじゃないの。書道界はじめての家元制度もつ
くるのよ」

へえーっ。あのお茶やお花の世界と同じ、ナニナニ流
ってヤツ？

「形はそうだけど、私のはあんな下から（おカネを）し
ばりとするのもんじゃないわよ。もっと新しい、いい
方だけ」の家元なの」

株式会社「鳳美社」取締役社長のほかに、望月流家元
なんて肩書きがふえるんだナ。

「それにねえ、望月美佐の会」 ってのもつくるの。会
長は家元の私よ、ネッ」

こちらは、書道界を超えて広く一般大衆に呼びかけ、
書の推進のためにたたかう家元の支援組織を——という
算段。つまり、そのウ、ファンクラブですな。

趣意書を拝見すると「書にも社会性というか、書を通
じて、うるおいのある日本の回復につとめることをめざ
す望月美佐個人を支援するため……」などと、いささか
仰々しいキャッチフレーズもチラホラ。

「アノ文章は福田さん（生田神社宮司）がつくったのよ」
さらっと他人事のようにそらして……

「ファンが私の字を手に入れて、それで心が安らぎ、信
者になる。もうこれは宗教ですよ。ウン、美佐教なの」
会の規約によると会費が法人三万円、個人一万円とか。
チャッカリしてますな。

「そりや、おカネはとらなくちゃネ。でもそれはお金持
ちから頂くことで、そうでない人からは取りません
よ。あの会費のところはバツと消して回すとか、ウラは
あるんだから……」

ま、いずれにせよ徹底した自己顕示。こうなると、た
だアツケにとられて見とれるだけ……。

「NHKがねえ、私の一代記をドラマにさせてくれなん
で前から申しこんできてるんですよ」

ドラマはまだだが、ヌード写真は一足先に公開済み。
先年「アサヒカメラ」に登場したと思ったら、この夏に
は富士フォトサロンの「ポートレート二人展」で尾内七
郎氏（国画家）のモデルをつとめた。

あの女は露出狂だ、なんて誰かが言ってましたよ。

「裸になるのって、決してイヤらしくないことよ。私、
お乳が、こうピンクムードで、みんなに自慢するほどな
の、ホント。写真は歴史だもの、きれいなうちに撮って
もらうのって、大事なことだと思わよ」

お酒の方も、「神戸っ子」の酒徒番付で毎年三役をつ
とめるほどの実績。飲みっぷりは豪放。ダイナミックに

盃を重ね、あげくはピアノに乗って歌ったり、半裸でアメノウズメノミコトに扮して踊ったり……と、まあ天衣無縫のご活躍――。

「そんな無鉄砲で、無反省なことをしたのは、ちよつと前までのことよ。ホントは私って案外デリケートでねーエ、このごろ特に酔いがさめたあと、自分の醜さを見るっていうか、思い返してイーツとなることが多いの」まさか。信じられないなあ。

「ウソじゃないわよ。ひとりになったら、おとなげないア、イヤだなあーって思うこと多いんだもの。でも、そういう自分にきびしい私って、だれも知らんでしょ」昭和三年生まれ。もう五十の声を聞くころだもん。そりゃ、トシのせいですよ。

「（素っけなく）そうかもネ」

三百人を越すお弟子さんたちには「こわい師匠さん」

で通っている。この五、六年、力を入れている幼児向けの書道教室では「聖母マリアが慈母のごとく」慕われている、と本人は強調なさる。

「あなたをふくめて、夜のおともだちの皆さんは、こういう『夜の美佐』しか知らないでしょ。私のこと書くなら、昼の美佐や、ひとりでいるカオも見てほしいって思うのよ、ネッ」

夜の三宮。グラスを重ねながらキツとみつめられて目をつむって見たが、きびしい書道家の姿は浮かばず、アラ不思議、カメラの前でポーズするヌードの女史がハミルトン調でおぼろに現れて……（酔ってきたのかな）

それではと、事前に頂いた「資料」をひもといてみると――

朝鮮生まれ、広島県立第一高女卒、結婚したが一年で



夫に死別、神戸に出てきて書の道へ……。日展に連続十回入選したあと「その偽贗性を知り」不出品を決意、独自に鳳美社を設立――。

書の大衆化。(そして自らの知名度を高めるため)活発に全国で個展開催。同時に「11PM」などのテレビ出演、講演、出版……とマスコミ界でも大車輪の奮闘……。近ごろは「美佐オリジナル」と名付けて、ネクタイ、飾り皿、額、扇子、和服からバンタロン……と、めったやたらに筆をふるっておられる。

「それほど書の普及に情熱を賭けてるってことなの。書には、ホラ、意味があるでしょ。第一、格調も高いし、すばらしいじゃないの」

お前、そば屋の看板まで書いてやったのか、と元知事の阪本勝さん(故人)にいわれたそうだが「私が書いた縁起がいいのよ。ウン、お店は繁盛するし、男の人はモテルようになるし……」と、波及効果を延々……。

「海外進出」も、めざましい。四年前からソ連、西欧諸国、韓国と軒なみに親善使節だ、デモンストレーションだとマタにかけていらっしやる。「外国でも、私ひとりモテるのよ。一緒にいった人に嫉妬されて、足をひっぱられてばかり……」

が、ヤキモチなどはおかまいなしに敢行したのが「書のリサイタル」。舞台の袖で、笛や太鼓、地謡が演じられるなかを女史が登場、中央に張りめぐらせた幕に向かって、筆太に、エネルギッシュに筆をふるう……という趣向。

「書を舞台芸術として開拓した画期的なもの」と資料にあるけど、悪くいえば書道を見世物にしたってことじゃないかな。

「まあ、あれは皆さんのプランだけど、私はすぐに何でも乗るの。でも、どうせ見せるならショウ的にやった方がいいじゃない？」

あっさり肯定してみせて――

「あれだけのリサイタルをひとりでやったんだもの、私って超人的だと思うよ。サービス精神が旺盛なんだなあ」

神戸文化ホール、広島郵便貯金ホール……と公演を重ね、こんどは文化使節で中国行きの話が出ているらしい。それも、書道界ではただ一人だとか。

「ホラ、私って書家でも絵になるでしょ。女だし、個性もってるし、ハツカリもきくし、心臓も強いし……。だから、選ばれたのよ、きつと」

もう、手放しのPR。いや、ちゃんと心得ていらっしやる、というべきか。広島では恩師が「これはもう望月だけの世界。よーやるよ」と慨嘆したそう。わかりますね。

中国へは和紙づくりの人間国宝と一緒。十一月の明石公演には、殺陣と組んで「書のショウ」をおやりになるつもり。「だって、同じことやってても仕様がないうん」

夫と死別以後、ずっと独身。

「ベッピンだからトクしてるだの、蔭にパトロンがいるから今日があるだのってカゲ口たたかれたけど、私ってプライドきついし、潔癖だから、スポンサーなんかゼンゼンなし、よ」

でも、恋人には不自由していませんようが……

「そう、私って、無関心そうに振舞われると心魅かれるタチなのね。でも、知能犯だし、みなさんのイメージこわしちゃいけないし、相手は慎重に選んでますよ、ウフフフ」

「サウジの石油王でも現れたら話は別だけど」いまのところ再婚する意志はなし。

「そりゃねえ、影のように私を受けとめてくれる人は欲しいわよ。でも、仮りにそんな人がいても、いつかはきつとわずらわしくなると思うの。ホラ、私ってわがままでしょ。だから……」

ファンの夢をこわさないためにも一人できびしく生きて行きます、なんて殊勝なセリフを吐いたかと思うと「いろんな恋愛をして、そのつど心をこめてラブレター書くでしょ。その恋が終わって、またお友達にもどった

ら、ラブレターも必ず返してもらってるのよ。私がすごく燃えた人が、死ぬ直前に小包みで送り返してきてくれたこともあるわ」

なんと、なんと。これはドラマになりますねえ。いたい、どんな手紙なんだろう。

「表現を押さえて、かなしいわよ。万葉集をかいいたり、出展作品の次にできればのいいものの裏に心を綴ったり」「ひとめ、おめもじいたしたく……」とか、そりや余韻のある文面よオ」

返されたラブレターは時折り読みかえす。お弟子さんに見せることもある。「こういう愛もあるのよ」などと人生勉強の一端に――

奔放にみえて、どこかいじらしい一匹狼の女流書家。

「そうよ。ひとくちでいえば、私はおんな。それも、かわいい女。奥さんにしたら最高よオ。尽くすタイプだも

ん。なのに、どうしてこんなに敵が多いのかしら。あなた教えてよ」

うーん。まあ、アナタは世界中のすべてが自分を中心に回ってなきや気がすまないところがあるからなあ。

それはいいとしても、自分のことをヌケヌケ長々と自慢するの、あの点がインテリ、つまり「教養のある人」の反感を呼ぶんじゃないかなあ。

「（一瞬絶句して）いわれてみれば……なるほどと思うわ。だれも、そんなこと、今まで直接いつてくれなかったんだもン。（シュンとして）きつと……そうかも、ね」いや、いや。そんなにシオレルのは、およしなさい。いままで通り、華麗に、奔放に、鉄面皮に生きてる方がいかにも「天下の美佐」らしい

「反省する美佐」なんて、第一、サマになりませんよ。ねえ、みなさん。



一人静かにきびしく、わりしく、作品をみつめる“星の美佐さん”（兵庫区 自宅にて）

□話題のひろば
I

★ユニークな歌の祭典

スタッフも歌手も みんな神戸っ子

神戸文化ホールでは「グリーンステージ」と銘打ち、市民文化発展のため地元文化団体による舞台芸術公演に、自主的に援助を行っている。この名称の由来には、神戸にゆかりの若い有望な芸術家を発掘し、育て上げたいとの願いがこめられている。

今回は、その第10回目を記念して、「77 KOBE 歌のフェスティバル」を企画。神戸在住、または出身の歌手を一堂に集め、シャンソン、ジャズ、歌謡曲と趣向を凝らしたプログラムを編成、神戸の文化水準が低くないことを、市民にアピールしようと意欲満々だ。新曲《いつかさようなら》を発表したばかりの伊勢功一さんは、「地元神戸の人たちにいち早く新曲を披露できるのが嬉しいです。また私も神戸っ子。このような神戸らしい音楽のお祭りがいつまでも続いてほしいですね」と語っている。

新しい試みであるこの祭典に大いに期待したい。

△演出・構成▽末広光夫、徳久 勲△司会▽小山乃里子△出演者▽湯井一葉、上平田裕子、堀 郁子、内海みゆき、高島久美子、松江和郎、内藤国雄、森田由美恵、アンディメイフェア、滝 えり子、チャーリー、松本房子、森 哲也、伊勢功一、あい御影△演奏▽白井克治とニューソニック
10月1日（土）午後6時 神戸文化ホール 入場料2,000円。



□話題のひろば

II

黒獅子旗 神戸へ！

★都市対抗野球で神戸製鋼チーム日本一！



神戸市代表チーム全員集合！(上) 後楽園にかけつけた応援団(左下) 左から3人目が喜びの清水監督(右下)

神戸市代表チームが、都市対抗野球大会で全国制覇。スコアは三対〇の圧勝だった。「準決勝の一回の表の攻撃が終わった時には、もう優勝の自信がありましたよ」と清水監督。自信があってもアマチュア野球日本一の栄冠だ。喜びの表情は隠せない。

神戸市代表チームは地区予選で優勝した神戸製鋼チーム二十人に五人の補強選手の加わった強化チーム。決勝戦、突端から小林晋哉のホームラン。「小林晋哉だけじゃない。小林貢、登記欣也、増岡義教、みんなよくやりました」増岡投手は最優秀選手の橋戸賞。

「補強の五人の選手も素晴らしいがチームの結束をいっそう強くした。清水一夫監督は神戸製鋼に来て五年目。報徳、市神港と県下屈指の野球名門校を教えてきた大ベテラン監督。

「何度でも優勝は嬉しいです。勝たなくては意味がない。負けても悔いなし」は嘘です「毎日の練習は辛い。だが勝てばすべて満足する」という。

さて、来年。今年の優勝チームである神戸製鋼チームは、予選なしで大会に出場できる。だから応援団の期待も今から大きい。

「勝ちたいですよ。来年も勿論」神戸っ子球児、頑張れ！

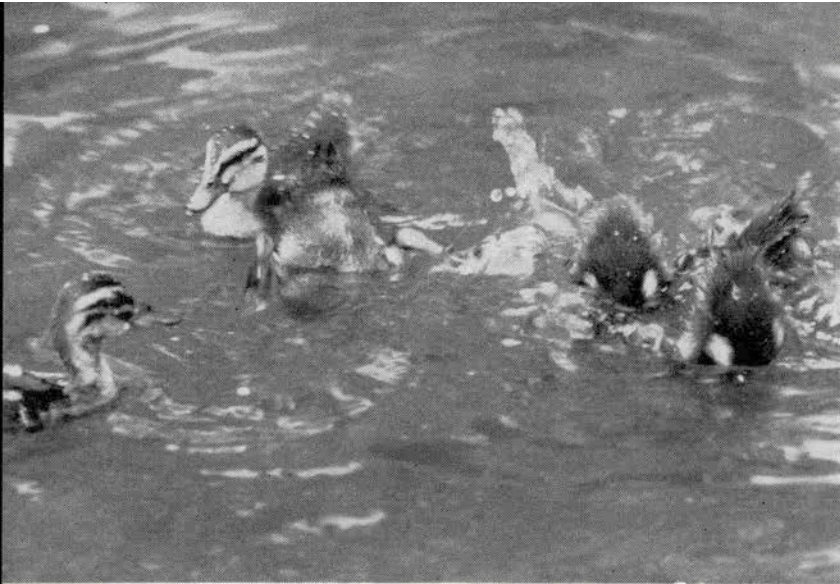


動物園飼育日記 — 133 — 亀井一成



アニマル事件シリーズ〈5〉 カモ母さん家出事件





「あーあ、水遊びは気持ち良いよ」とカモの子達

親グマの背中に中グマがのっかり、そのまた背にとびのった一頭のオスグマ。さっと仁王立ちになったと思いきや、絶対にあり得ないはずの高さ6メートル。コンクリートヘンス上部にそのクマのツメがひっかかった。いやとどいたのである。

もちろん、クマやライオンという猛獣類の放養飼育場のヘンスの高さは、種々検討され、国際的にも5〜6メートルが安全ラインとされている。にもかかわらず親グマが次々と脱出するという恐ろしい事故が起った。

それは豪雪の深夜。吹きつける雪の中、冷えこむからだを室内にも運ばず屋外放養に出されたままの親グマたち十数頭の群。みんな、片隅に寄りかたまつて体温を守

りあう彼等だった。ブルルーンとはねとばす大雪は一瞬たりともクマの毛色さえ見せないほど降り続いた。そして時間単位という降り積もった雪がそのクマたちに踏みつけられ、50センチ、1メートルと、積もった雪でクマのいる「足場」が、固められ、せりあがってきた。そして夜明けと共に空腹に動きだした彼等が、とつくみあい、ふざけるうち、ひょいと他の者の背にのっかった一頭が、仁王立ち、はからずもツメがヘンスの上部にひっかかり、よじのぼったのである。いや、これは、私のクマ脱出事故例の推理だった。

だが、こうした類似の脱出事故が、クマや猿類でわが国の動物園でも実際に起こっているのである。

そこで、たとえ放養飼育といえども閉園時には全てを室内に収容し頭数のチェックをすることになっている。

だが、しかし、長い日々のこと、時として、何らかの原因で、エサにも目もくれず室内に入ってくれない。何時間もかかって、何をどう追いたてようが頭として屋外にすすわったまま動かない。そうした日、まあいいや、一晩ぐらい、と屋外に出したままの一夜を過ごせることになって、帰宅したら、きまつてその翌朝、担当者が出勤する前に、非常連絡を受けることに、よく相成るのだ。いや実のところ、わが神戸王子動物園ではこうした恐ろしい事故にはならないよう、毎日厳しい安全チェックを行っており、「絶対事故は起こらない」という安全宣言さえとえています。どうぞご安心下さい」

「逃げ出たカモ事件」

と申し上げた口先から、こんな小さな、かわいいた脱出事件が起こったのが、ちょうど一カ月前のことである。

何しろ、事故の原因は予想されないちよつとしたことがきっかけになるもので、こちらは大雪でも何でもない。大フライングケージの金網張替へ工事のため、ツルやコウノトリ、カモなどを一時各所に同居させることになったが、その名のとおりに、フライングでできる鳥舎のこ

と、どの鳥もが、優雅に飛べる羽をもっており、うかつに金網のない池に放すわけにはいかなかった。だが、さりとてツルやコウノトリ、ペリカンという大きい鳥はなんとかオリの中へ入れたものの数多いカモまで収容するオリが見当らない。

“ええーい。一羽や二羽ぐらい逃げたっていいやノ”やむを得ず、カモ類は、羽を切って飛べなくしてあるハクチョウ池に放してやったのである。

たとえ、大きな池だろうが大群を作る彼等は、たちまち、互いからだを集めあい、群を作ったの動きが目立ちはじめた。と同時に、金網のないこのフライングケージ内の彼等はプールを一周。そのあと、島かげに寄り集まって休みはじめた。

二三日は、一羽の事故もなく、実に静かな日々を過ごしてくれたものだった。

ところがである。四日めの夕暮どき、どうもカモの数が減っている。やはり三度めのチェックでオス、メス、二羽のカモが不足していることに気づいたのである。

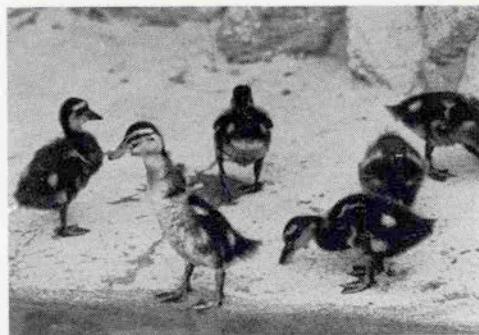
園内にはホロホロチョウ。チャボ、ミノヒキチャボなどかなりの数が放養飼育されている。そんな鳥たちにさそわれたのだろう。

あれだけ、きちんと餌どきには、池のヘンスを見軽に飛びこえ、まい戻っていたのである。

その、あれとあれと、予想できる二羽のカモが突然行方不明に相成ったのだ。

一羽一羽総当りをやってみてもやはり帰っていない他のケージ内にもぐりこんでいないことも分った。

一週、二週、三週と。その姿をいっこうに見せないことから、ひよっとしたら、野犬かのら猫に襲われたので



“家出娘”のカモは9羽の子供をつれて帰ってきました。

はという不安がつのるばかり。そしてはや一カ月が流れ流れた。

それでもやっぱりカモの姿を見たという報告がびたりと途絶え、我々さえも、少々危なくなってきたのである。

〔走り出たカモのひな9羽〕

指折り数えてちょうど一カ月。その日の午前9時20分頃のことだった。

どこでどう9羽のひなをふ化させたのであろうか、ゾウ舎北寄りの土道にちっちゃなお尻をふりふり、9羽のひなをひきつれ、あのカモの“家出娘”が、姿を見せたのである。

木の枝や屋上、つまり空中に巣を作りひなをかえす鳥は“就巢性”とよぶ。つまりふ化したひなは木の枝の上。下手に動けば地上に落ちてしまう。親たちは丸裸のひなにせせせせと餌を運び続ける。

一方、地上に産卵ひなを育てる鳥は、離巢性という。とにかく、ふ化したひな9羽は何でもいい動く物があれば大よろこびそのあとを追ひ餌探しに明け暮れるのだ。

だから、ふ化した一日は、9個みんながふ化し終るまで、じーとすわりこんだまま親の胸の中で待ち続ける。そして、翌朝、ふ化した9羽、全部をひきつれ、いっせいに、巣から、世間さまの眼にとまる。ゾウ舎前をアヒルの学校よろしく一列縦隊、エサ拾いにお出かけになったのだ。

野良ネコ、野犬がたむろする園内のこと致しかたなく、そのまま自由な生活を与えることができなかった。

いや、危険が予想されるので、かわいそうだが、金網張りの大放鳥舎(フライングケージ)に保護収容し、その後2羽が死亡したものの残り7羽はもうすっかり親と変らないほどの成長を見せている。それにしても父親はと思えば、はや別のメスを連れ添いハクチョウ池を泳ぎ回っているのである。

△王子動物園学芸員/写真も▽

幼児歯科 小児歯科

SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

母親教室

(初診日) 火曜日 午前9時30分

金曜日 午後1時30分

(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口
住友銀行三宮ビル6階

〒650 生田区加納町5丁目39

TEL (078)331-6302~3



こんにちは赤ちゃん



桑田郁子ちゃん/芦屋市朝日ヶ丘町

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大槻町1番18号
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)

☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

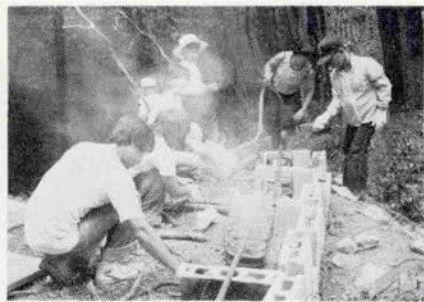
★神戸を福祉の町に△45▽

六甲山の

山荘開放

—里親家庭のキャンプの試み—

「六甲ファミリークラブ山荘」の一周年記念に
橋本 明 △社団法人「家庭養護促進協会」事務局長▽



六甲山のカントリーハウスのすぐ北側に「六甲ファミリークラブ山荘」という小さな山荘がある。この山荘は約二〇人の若い人たちがお互いにお金を出し合って建てたもので、この八月で創設一周年を迎えた。この山荘のメンバーの一人である川端耿一さんから、一周年記念に協会の里親子のファミリーキャンプをこの山荘を利用してやってみようかというお誘いをうけたのが半年ほど前のことだった。さらにこの山荘のメンバーの一人であり当時六甲レオクラブの会長でもあった滝川秀司さんの協力もあって計画は具体的に動き出し、神戸六甲ライオンズクラブの会員でレオ委員長の佐藤廉氏のご努力で六甲レオクラブ（太田正美会長、メンバー約三〇人）の全面的な協力を得て、第九回ほんほこキャンプが八月五、六、七日の三日間、約八〇人の参加者のもとに開かれた。

八月五日は約二〇人の小学校四年生以上の子どもたちが参加し、阪急六甲駅から山頂までバスで上り、記念碑台から約一時間歩いて山荘に到着。夕食はカラ揚げを食べ、夜は近くのタキロン荘という山荘の米村邦穂さんをお招きして約一時間「六甲山の自然」というテーマで楽しいお話を聞き、少しゲームをした後十時に消灯……という予定であったが、子どもたちはテントでの生活に興

奮し、夜中の一時すぎまでドタン、バタンと暴れ回り、翌朝は全員睡眠不足で頭がボンヤリ。「アアア、ネムティーナ」と目をこすりつつ六時起床。午前九時から子どもたちは自分たちでおにぎりをつくって六甲山牧場へハイキングに出発。山荘↓新池↓記念碑台↓ダイヤモンドポイント↓三国岩を経て牧場に着いたのが十二時前。約三時間のハイキングにややバテ気味。帰りはバスに乗り二時頃山荘にたどりつくるとボランテアのみなさんが心をこめて「野外トイレ」を作ってくれていた。地面に穴を掘り、テントとゴザで囲い、中にはアジサイの花も活けてある風流なもので人気抜群。四時すぎにもう一つのグループが到着し、山荘は八〇人の大人と子どもたちでごったがえした。この日の入村式には六甲ライオンズクラブの太田正美会長さんをはじめ、多くのメンバーがご参加下さり、夕食の豚汁を共に味わい、楽しいひとときを過ごした。陽が西の空に沈み、六甲の山々にも静かな夜のとりやがりがあると、待望のキャンプファイアーが始まり、キャンプは最高潮になった。ボランテアの田淵さんや源水さんのリードでファイアーを囲み、みんな輪になって歌を唄い、ゲームに興じ、あつという間に夜もふけてしまった。

ファイアーの後、しばらく打上げ花火を楽しんで十時に消灯。山荘の囲りにテントを九張りも張り、約五〇人がテントで夜を過ごし、すがすがしい朝を迎えた。

七日の最終日は、午前八時から班別行動を計画し、近くのカントリーハウスへ行くグループ、昆虫採集をするグループ、記念にトーテムポールなどをつくるグループなどに分かれて楽しんだ。そして最後の昼食は全員でカレーライスづくりに取りくみ、四つの班に分かれて味を競い合い、カレーには目のない元町画廊の佐藤さんとレオクラブの太田さんが味定めをして順位を決めた。午後は、飛び入りで参加していただいた宮田隆さんのフレームンギターの演奏を楽しみ、ハイジと亀井堂さんからいただいたお菓子をくじ抽きで分け、おいしいスイカを口にはおぼって、午後二時半に全員で記念写真をとって現地解散となり、三日間の楽しかったキャンプの幕を閉じた。

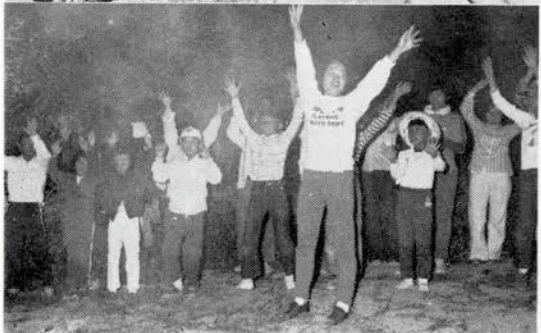
六甲山には約二百近くの山荘があり、それぞれの所有者の家族や会社の社員が利用しているが、利用率は低く

普段はほとんど空いたままになっている。この山荘をもっと広く一般市民に開放して、山荘を市民の共有できる財産にすれば素晴らしいと思うのだがなかなかそれは難しいようでもある。

しかし、この山荘開放の実験的な試みとして実施したのが今度のキャンプでもあり、この試みは予想以上の成功をおさめた。「今までのキャンプで一番楽しかった」という声に参加者から寄せられたのは関係者にとって大きな喜びであった。

最後に、このキャンプのために山荘を提供して下さった六甲ファミリークラブのメンバー、資金の援助をしていただいた六甲ライオンズクラブ、炊事を担当して下さった六甲レオクラブの若い人たち、子どものお世話を引き受けてくれたボランティアのみなさんたちに心からお礼を申し上げたい。

そして多くの若い力が福祉の土壌を肥やし、連帯の心を培い、新しい地域づくりへと目をひろげていっていただくことを期待したい。



上 オーイ、こっち向いてよく聞けヨー。楽しいキャンプの始まりです。
中 今日の夕食はカラ揚げデース。
下 歌って踊ってワッショイワッショイ。キャンプファイヤーは最高気分

神子と健康

●ファミリーで飲んでます△9月V スーパーマシーン

★9月のファミリーは

細川

ただすさん

△哲学者▽

町 子さん

美智留さん



ペンと絵筆とテレビの三刀流で第二の青春に挑戦している僕にとって健康のことなど考えるひまはない。最近こんな僕の所へ、アルカリ性イオン水を作るスーパーマシーンが持ち込まれた。ああ因縁とは恐ろしいものだ。実はアルカリ性食品は僕の命の恩人なのだ。僕は小学校四年まで毎年病床で正月を迎えた。しかし五年からは違った。父母が子供の食生活をアルカリ食品に変えてくれたからだ。四十年前を思い出し、なつかしんで早速、僕はスーパーマシンを購入して飲み始めた。

五十を過ぎたばかりの僕がこんないい水を本真剣に飲み出したら一体これから先どれほど多くの年月このマシンのために愛すべき浮世にしばりつけられることになるのだろう。楽しみなことだ。

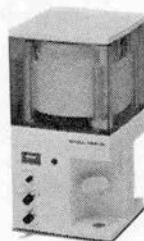
□ 活性カルシウム

イオン水

生成器

ナチュラ

ミネラアサヒ



活性カルシウムイオン水生成器は水道水を急速に電解処理して活性カルシウムイオン水（アルカリ水）と、アストリンゼン液（酸性水）を同時につくります。

そのイオン水は、消化不良、慢性下痢、胃腸内異状発酵、制酸作用にも有効で、酸性に傾きがちな体液を理想的な弱アルカリ性に保つ働きをします。この「ナチュラミネラアサヒ」の特色は、①旭硝子が開発した特殊電極②素焼は最高級③便利な連続取水機構④シンブルなデザイン⑤生成時間はわずか5分⑥徹底した安全設計⑦付属品も万全です。

△標準価格59,500円
割賦販売（10ヶ月）もあるV

総発売元・技術指導



旭硝子株式会社

本社〒100 東京都千代田区丸の内2-1-2
(千代田ビル) 特品営業部 ☎ (218) 5574

代理店

株式会社

ハーベ

〒651 葦合区磯辺通1丁目1ノ20
078 (251) 3531 (代)

健康機器販売部 251-3593・4

★神戸の集いから

★日米を結ぶ空手道

八月十七日から七日間、姉妹都市シアトルを神戸市代表空手道グループ（菅野淳八段、他十六名）が親善訪問。家庭訪問、日米市民会議出席や空手の模範演技の披露でシアトル市民との交歓のあと二十五日に帰神



模範演技を披露

長島市民局局長の音頭で乾杯

それに先立ち同二日生田神社会館で壮行会が行なわれた。佐野雄一郎神戸市助役などの激励に答えて「頑張ってください」と菅野代表長島市民局局長の音頭で乾杯のあと、代表団全員の模範演技。見事な演技に、集

まった市民たちから感嘆の声が聞かれた。なお、今年で神戸市、シアトル姉妹都市提携二十周年である。
★坂に名をと

北野コミュニティクラブ
北野町界隈が、神戸の新しい環境空間のファッションゾーンとして魅力的に成長しつつある時、NHKは朝ドラに「風見鶏」を10月1日からスタートさせ、銀河ドラマでも、この界隈が舞台になる。



北野コミュニティクラブ発足

この界隈のファッションショップの人々が集う「北野町コミュニティクラブ」が8月4日ローズガーデン3Fに集合、神戸市に愛称されている異人館通りハシエイク邸のある通り、北野坂ハイルトン坂などといわないで、ハンター坂、ハフロインドリープのある坂道

・もともとハンター邸があったので、定着させてほしいと提案。市も、このTVドラマの進行に観光客を見込んで教育文化課は異人館案内図と標識を、経済局観光課はガイド図とガイド標識をたてる。

この界隈を神戸の詩的空間として深い趣きを加えるのも住人たちと、北野コミュニティクラブに期待がよせられている。

★本場のフラメンコギターの醍醐味を！

フラメンコ・ギタリスト
フラメンコ・ダンサーの宮田隆さんがスペインから帰国後第2回目のミニ・コンサートを8月12日（金）神戸時代で開催し数曲を披露。
宮田隆さんは2度のスペイン留学、4年あまり本場でみっちりと修業した関西唯一のプロフラメンコギタリスト。午後7時から2回の演奏には一般客に加えて30名余りのファンが集い、本場の妙なる調べに魅了された。8月26日（金）にはローズガーデン3階で佐藤佑子さんの賛助出演を得て「Caspacho Andaluz」を開催。神戸での活躍が期待される。

小泉パーティ ご案内

小泉パーティとは

★結婚を希望する男女に交際の場を提供し、良きパートナーを見出すお手伝いをいたします。

結婚に関する一切のコンサルタント、カウンセラーにも応じます。

趣味を通しての新しい出会いの場、美術愛好会、芸術愛好会、レジャー愛好会、文学愛好会、音楽演劇愛好会によるって、ご参加下さい。

★食べ放題！

三木でぶどう狩

とき 9月11日（日）10時集合
ところ 平井山観光ぶどう園
電話 079-481-3135 46
かい ¥1,500
（交通費と入園料）

集合場所 神戸電鉄新開地駅
改札口付近
携帯品 昼食・飲料は各自持参のこと
申込締切 9月4日まで



神戸市集合区浜辺通六丁目三三
ニニューポートホテル一F
一三三号 ☎二五一一三八〇
毎月曜休 一〇時～一八時

本物のエレガンス、ポーシヤル&ルイザ

ファッションは心

種本 健志

△ワールド海外事業部次長▽



「本当にいいものを売りたい」と種本さん

神戸の街のハイ・センス、ハイ・クオリティを象徴するかのような、シックな茶色の、エレガントな曲線のワールドの新しいビル。その四階の一室で海外事業部の種本健志さんにお話を伺った。

「この部門は今四年目、伊藤忠の輸入の仕事をしていて私が、こちらに移ってから新しくできた部門です。従来日本の輸入は舶来主義なんです。業者もそうでし消費費も欧州の先進国に対する憧れのようなものがまだあって、シビアな目で輸入品を見ていないんです。たとえばサン・ローランとかエルメスだとかといった名前があればそれでいいといった、名前を着せてもらっているみたいなどころがあるわけです。業者も名前があれば簡単に売れるわけだから、むこうのメーカーと交渉したりしないんです。高ければ高いで、名前さえあれば売れるのですから。これでいいのだろうか、これがファッシ

ョンだろうかいつも疑問を持っていました。

ポーシヤルというのは？

「ポーシヤルというブランドはワールドがイタリアのメーカーに作らせているものにつけたブランドなんです。有名なデザイナーの名前をブランドにして、名前で売るのは簡単ですよ。でもそれじゃいけない。ポーシヤルの名前は始めは全く知られてなかったというわけです」

名前や値段だけじゃないということですか？

「最近バーゲン製品があまり売れなくなつたと聞きます。いいことですね。安いから買おうということじゃなくて、これがあれば生活が楽しくなるからという具合に価値が問われているわけです。ファッションについて言うと、着るものとは何かなどといった問いがなされるようになっていく、ワールドの観点も、こういう点にあるのです。『ファッションはここ』とワールドは考えているのです。本当にいいもの、本当に役に立つものを売りたいですね。」

——— どのような発注の仕方をしているのですか？

「ファッションは、一人一人が対象なわけですが、大体今の輸入の洋服は、買ってきてそのままを日本で売る場合が多いようです。日本人の体型に合うはずがないですよ。ワールドでは、ポーシヤルもルイザも、ボディをむこうに送って日本人向きにカットイングさせています。寸法が違っただけでなく、体型が違っているのですから、こうしないと本当は合うはずなのです」



Luisa

Poushal

——日本で作るより、やはりいい物ができるのでですか？
「こうして、輸入するから手間がかかるんです。それなのにどうして輸入するか。日本の商品しか知らないというんな面で停滞してしまうわけです。今作っている以上のものを作るにはどうすればいいかということ、機能性と美しさから考えると、日本の洋服の歴史ではまだまだなんです。ワールドは外国品とつき合っているうちに伸びましたよ。技術的な面も取り入れるのですが、それより商品を作る心構えを学べたわけです。職人気質みたいなものです」

——ワールドの海外ブランドの買い付けのポリシーはどういうことでしょうか？

「衣料品はいつも発想に問いかけてきますよ。何となく、日本はこれでもいいのかといった『愛国心』まで逆のぼるんです。だからむこうに買いつけに行っても、商売だけでなく消費者、つまり日本の生活者に対する思いやりがないといけないでしょう。日本の人に見てもらって、そして楽しんでもらいたいというも思っています」